

# がん化学療法を受けられている患者様やご家族(介助者)様へ

がん化学療法を受けられている患者様の尿や便の中には、わずかに化学療法のお薬が含まれることが知られています。なるべくそのお薬にふれる機会を減らし、より安全にご家庭で生活していただくためには、以下の対策が有効だといわれています。(できる範囲内で構いません。)

## 内服の際の注意点

- ・錠剤やカプセルにはなるべく直接手で触れないようにしてください。
- ・お薬に直接手で触れた場合は、石鹼などで手洗いをしてください。

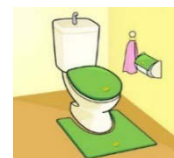


## トイレに関する注意点

化学療法の点滴や内服の治療期間中(化学療法の点滴や飲み薬を終了してから少なくとも2日間)は、お薬の成分が尿中や便中に排泄されるため、以下の点にご注意ください。

### <利用時>

- ・尿が便器の周囲に飛び散らないよう男性も便座に座って用を足しましょう。
- ・使用後はトイレのふたを閉じて流してください。
- ・水流や洗浄が不十分な場合は、2回流してください。



### <清掃時>

- ・手袋を着用しましょう。

### <尿や便などの排泄物、嘔吐物の処理>

- ・オムツやストマパウチなどの処理の際は、直接手で触れないようにしてください。
- ・処理後は二重のビニール袋で密閉し、一般ごみとして廃棄してください。
- ・処理後は石鹼などで十分に手を洗いましょう。

## 洗濯の際の注意点

- ・尿や便などが大量に付着している場合は、1回目は他の洗濯物とは分け、直接洗濯機に入れて洗濯してください。2回目は通常どおり洗濯してください。
- ・手で予洗いする際、付着が大量の場合には、直接手で触れないようにしてください。

